

NEW YEAR SPECIAL MEETING

(第277回 仙台SMIクラブ例会)

進化・新化・深化・「違い」限りなし

PROGRESSIVE CONVENTION 2023

第一部 15:00～17:00

トークセッション①

プロ野球を諦めビジネスの世界へ

メットライフ生命保険(株)

ライフコンサルタント

菊名裕貴会員

尊敬する父の死と倒産危機を乗り越えて
コロナ直撃から過去最高売上

(有)フィダール 代表取締役

林 翔太会員

(株)本間青果 代表取締役

本間 充会員

ファシリテーター ブレインワークス(株) 代表取締役社長

阿部孝一会員

トークセッション②

大手企業を退職し夢への挑戦
人生を変えた出会いと起業
海外への挑戦

(株)ケンオート 代表取締役

小原健一会員

(株)ワオナス 代表取締役

北川英之会員

(有)アール 代表取締役

丹野浩行会員

ファシリテーター (株)サクセス・アンリミテッド仙台 専務取締役 倉林三四郎

第二部 17:30～19:30

新年モチベーションパーティー

会場案内



コンベンションの目的

- ① 出会い・研鑽
(会員同士のつながり、相互理解を深める)
- ② 研究・共有
(身近な会員の成果を研究・共有する)
- ③ 実践・成果
(会員それぞれが成果をあげる)

———人の幸せを願う———

仙台SMIクラブ事務局

(株)サクセス・アンリミテッド仙台内
〒981-3102 仙台市泉区向陽台三丁目27-12
TEL 022(372)9794
FAX 022(372)6928

仙台SMIクラブとは……

地元経営者を中心にしたサロンで“人を幸せにする”を目的に、“もうかる”4訓を目標・手段にしているユニークな集まりです。

SMI経営4訓

① ついでに
「ピンチはチャンス」② おかげさまで…
「感謝」③ “違い”
「創造」+ ④ 色気 (いろけ)
「人を動かす動機」

15種類の各ミーティングがあり、メインの“クラブ例会”が2ヶ月に一度開催されています。

SMIとは、Success Motivation Institute の略 (成功するための心構えを身につける研究所の略)

NEW YEAR SPECIAL MEETING

(第277回 仙台SMIクラブ例会)

進化・新化・深化・「違い」限りなし

PROGRESSIVE CONVENTION 2023

『分水嶺』

2023年 1月24日 (火曜日)

第一部 15:00～17:00 トークセッション

第二部 17:30～19:30 新年モチベーションパーティー

☆ところ ウェスティンホテル仙台 25階

仙台市青葉区一番町1-9-1 TEL 022-722-1234

トークセッションのみ会場とオンラインのハイブリッド開催

☆会 費

トークセッション

会 員 無料

会員社員 ￥2,000

パーティー

会 員 ￥10,000

トークセッション

一 般 ￥3,000

パーティー

￥13,000



PROGRESSIVE CONVENTION
出欠届けQRコード

仙台SMIクラブコンセプト「SMI経営4訓」の実践

2023年の最初の例会は、仙台SMIクラブのコンセプトに基づき、SMIプログラムを活用した体験談・成功事例を会員の方にお話を頂き、皆さんで共有しようという企画です。大変貴重な体験談を聴くことができます。ぜひ楽しみに！

———人の幸せを願う———

SMI 仙台SMIクラブ

PROGRESSIVE CONVENTION 2023

あの時の決断が今を作り、そして今の決断が未来をつくる。

人生・ビジネスの岐路『その時、何を考え、どう決断したか』

この大きく変化する時代「今何を観て、何をしようとしているのか」

6名のクラブメンバーによる熱いトークセッションです！

新年モチベーションパーティーは3年ぶりの開催！！

是非ご参加いただき、2023年のスタートを素晴らしいものにしてください！！

【トークセッション①】



菊名裕貴会員

メットライフ生命保険株式会社
ライフコンサルタント

プロフィール：

1995年 埼玉県吉川市生まれ、父の影響から9歳で野球をはじめ、甲子園に憧れ、関東をはじめ、たくさんの高校を見学する中で、仙台育英佐々木順一郎元監督に出会い、入学を決意。甲子園に2度出場し、甲子園ベスト8、明治神宮大会で日本一を経験。たくさんのスカウトオファーの中でプロ野球選手になるために東北福祉大学に進学。入学当初は全国からの強者たちに敵わなかったが、部一番といえるほどの練習量で3年春にレギュラーを獲得。4年で主将を務め、ドラフト会議での指名を待つもかからず、社会人野球に進む。2年間都市対抗野球、日本選手権に出場が叶わず、プロ野球選手になるためには自分を追い込むしかないと思いつき、収入もほとんどなくなってしまうBCリーグ福島レッドホープスに入団。2年連続でベストナイン獲得も1年目ドラフトからはず、最終年と決意して臨んだ2021年10月のドラフト会議もかからず、引退を決意し、翌11月メットライフ生命保険株式会社入社、ビジネス界での成功を決意。

SMIは2022年にDPMを採用。プロ野球選手として活躍する同級生を見て、悔しさを感じながら未練を捨てずにいた時にSMIと出会い、ビジネス目標に集中し、成果を伸ばしている。



林 翔太会員

有限会社フィダール
代表取締役

プロフィール：

1987年 仙台市生まれ、宮城調理製菓専門学校卒業後、老舗の中華料理店、葉膳中華専門店などで経験を積む。東日本大震災後、父が創業した有限会社フィダール入社。入社2年目父の病をきっかけに弱冠26歳で事業を承継し、代表取締役就任。会社を守るという使命感のもと経営者として必死に取り組む。現在、「らーめん堂仙台っ子」県内直営店6店舗をはじめ計13店舗展開、牛タン専門店「牛たん若」を運営している。地元では、根強いファンが多く絶大な支持を受けている。コロナ禍の影響を受け、売上高が4割減少するなど倒産を覚悟するほどの逆風に遭遇。3店舗撤退を決断。信金キャピタルからの資金調達、冷凍食品の製造販売、OEM事業、地域企業とのコラボらーめん・グッズ販売、事業再構築補助金を活用しての新規事業にも挑戦中。社員を解雇することなく、使命感と目標設定を原動力に力強く行動している。

SMIは2018年にDPMを採用。SMI行動計画セミナー「あぁ…無限塾」で目標設定を強固なものとし、コロナ禍においても力強く行動する姿は周囲に勇気を与えている。



本間 充会員

株式会社本間青果
代表取締役

プロフィール：

1975年 仙台市生まれ、東北学院大学卒業後、京都青果合同株式会社入社。入社後3年は競り認証取得まで掃除が主な仕事で、ほとんどの新人は場内の掃除をしていたが、お客様が通る通路を掃除しながら、お客様とコミュニケーションをとり続け、4年目に競り認証を取得し、歴史と伝統のある京都市場で競り人として第一線で活躍。本間青果は父が1973年自宅の庭で八百屋を創業。1992年卸売業へ業態を変更し、成長を続け、2011年代表取締役就任し、業界の壁といわれた7億の壁にぶつかっていた時にSMIを採用。仕入して販売するという従来の考え方には限界があることに気づき、物流にフォーカス。現在県内34ルート、15台だったトラックも40台にまで伸ばし、10億の壁も突破した。経営者としてゼロイチを体験するために、資金も売上も何もないままさらな状態からホンマフードサービスを設立。コロナウイルスにより売上が40%ダウン、元に戻ったとしても以前と同水準の売上では会社がもたないと決断し、M&Aにより新しい会社を受け入れ、過去最高売上を上げている。

SMIは2011年にDPMを採用し自身の壁を突破。2014年DSMを採用し実践社長塾受講。持ち前のバイタリティーで仙台SMIクラブの盛り上げにも貢献している。

【トークセッション②】



小原健一会員

株式会社ケンオート
代表取締役

プロフィール：

1967年 岩手県花巻市生まれ、岩手県立花北商業高等学校（現 花北青雲高等学校）卒業後、NTT日本電信電話株式会社入社。19歳で自動車レースと出会い、21歳でレースデビュー。会社員をしながら、レース活動を続け、1996年東北出身者としては初となる全日本F3選手権に参戦、1996年全日本選手権Jクラスでシリーズ3位を獲得。2002年参戦チームをサポートしていた企業からスカウトを受けNTTを即退職するも自身の欲求に合わず退社し、2006年株式会社ケンオートを設立。2009年マツダロードスター専門店として業態をチェンジし、東北レースシリーズにロードスターレースを誘致。2016年アメリカでのロードスターのイベントに日本から唯一のベンダーとして参加。英会話ができないながら、様々な人と出会い、アメリカのレーシングチームとジョイントを実現。2022年10月アメリカのレースのWRLシリーズにマツダロードスターで参戦。チェッカーフラッグの際にはアメリカのサーキットに日本の国旗が振られる賛辞を得た。

SMIは2011年にDPMを採用。毎週水曜日朝のSMI早朝サクセス学院や無限塾に参加しながら、自身と会社の目標設定や振り返りに活用し継続参加している。



ファシリテーター：

(株)サクセス・アンリミテッド仙台
専務取締役 倉林三四郎



北川英之会員

株式会社ワオナス
代表取締役

プロフィール：

1979年 青森県弘前市生まれ、法政大学卒。外資系生保にて11年連続MVP表彰を受賞。大きな出会いをきっかけに株式会社ワオナスを起業を決意。常識にとらわれない想像力と行動力で成果を残し続けている。メディア掲載やコラムの執筆など多数ある。保険代理店経営をする傍ら、全国の保険パーソンをサポートする事業を考案。2019年、日本初となる保険業界専門オンラインアシスタント「マイクラーク」をスタート、2020年、株式会社マイクラークを設立。コロナ禍のリモート需要が追い風になり急成長を続ける。そして、株式会社マイクラークは、高度な専門知識が必要な保険事務を一手に請け負う、日本ではこれまでにないシステムを構築したとして、「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の「三方よし」に、社員にとってより良い職場環境づくりに取り組む「働き手よし」を加えた「四方よし」を実践する仙台市の「仙台『四方よし』宣言企業」に登録される。業界全体の活性化を目指しながら、事務系職種の価値向上にも力を入れている。

2017年に人材育成とモチベーションが企業発展の鍵と考えSMIを導入。DPM・AIEを採用。2017年創業以来の退職者は0名。朝のランニングでSMIを愛用している。また会社においても、社内塾「ワオナス未来塾」を継続している。



丹野浩行会員

有限会社アール
代表取締役

プロフィール：

1972年 宮城県岩沼市生まれ。東北学院大学卒。株式会社カルラに入社し、トップ店長として活躍。その後、関東で焼肉チェーン店の総責任者として活躍後、2004年に名取市増田にて「らーめんなと家」を開業。2010年に仙台駅前に「麺屋政宗」オープン。その後も「麺屋政宗分家」、愛子の「Hungry & Hungry」を次々にオープン。東京ラーメンショーで「牛タン塩ラーメン」が大打列で話題になるなど、全国各地でイベントへ出店。2015年、ロシアにて海外へ初出店。話題を呼ぶ。その後も、ベトナム、カンボジア、ニューヨークへ出店。シンガポール、ニューヨークで行われたラーメンのコンテストでは見事グランプリを獲得。躍進ぶりが話題になり、書籍「絶対にマネしたくなる 成功した、あの人達のお話」で紹介される。コロナ禍においても独自の戦略で業績を出す。今後も出店の予定が後を立たない。

SMIは2010年にDPM・DSM・DPMカンパニーを採用。経営指針、クレド、ビジョンづくりに取り組んでいる。また会社においても、「アール世界塾」を開催するなど、各社内塾を継続している。

新年モチベーションパーティー 17:30～19:30

会員同士の出会い、交流のためのパーティーです
大いに語り合い、2023年を素晴らしい1年にしましょう！

分水嶺（ぶんすいれい）とは、雨が山脈の嶺を境に、太平洋側へ流れる水と日本海側へ流れる水とに分かれます。この分け目になる嶺を分水嶺といいます



ファシリテーター：
ブレインワークス(株)
代表取締役社長 阿部孝一会員